

Company public information magazine

USE REPORT

2025

創業55周年を迎えました

経営者の声を届ける

PRESIDENT'S MESSAGE

CROSS TALK

取締役 吉弘 宗義

金須 正信 × 関谷 章吾 × 井手 優

USE YouTube

会社概要を3分でご案内

USEの雰囲気はここから掴める！ /

USEオープン社内報

社員インタビュー / 部活動 / 行事

イベントレポート / 趣味 / 仕事

USEの”今”を伝える身近な社外広報誌

PRESIDENT'S MESSAGE

社長メッセージ



代表取締役社長

吉弘三男

55周年の感謝と更なる飛躍に向けて

～社員のご家族の皆様へ～

いつも、当社社員をあたたく見守り、支えてくださり、心より感謝申し上げます。皆様のご理解とご協力があったからこそ、社員たちは安心して毎日の仕事に取り組むことができています。本当にありがとうございます。

私たちUSEは、今年で創立55周年を迎えることができました。これまで会社を支えてくださった皆様のおかげと、心から感謝しております。

昨年は、会社の得意な分野をもっと強くするために、仕事の進め方や体制を見直しました。NTTグループとの連携を深めることも含めて、新たな組織体制を整えた結果、2024年の売上は前年より伸び、会社全体として良い成果を出すことができました。

特に、電力などの大手企業、中央省庁プロジェクトが順調に進みました。今年は、NTTデータグループの「コアビジネスパートナー」になることを目指し、より信頼される関係づくりに力を入れていきたいと考えています。

私たちは「社員がいきいきと働ける、幸せな会社」を目指しています。そのために、健康づくりへの取り組みや、AIなどの新しい技術を使った働きやすい職場づくりに力を入れています。

AIの時代では、一人ひとりが自分で考えて動く力がこれまで以上に求められます。当社では、社内専用のAIツール「Alris（アイリス）」を導入し、安心して使える環境の中で、仕事の効率を高めています。

今年は「AIを当たり前に使こなす会社（AIネイティブ企業）」を目指して、さらに取り組みを加速していきます。

社内では、社員が自分の考えや工夫を発信する「USE Knowledge Cast（ユー・エス・イー ナレッジキャスト）」という活動が広がってきています。こうした取り組みを通じて、社員同士のつながりもより深まってきました。また、「五感プロジェクト」という活動では、社員の集中力を高めたり、リラックスできるような環境づくりを行い、社員がより働きたくなる場となるよう職場の空間や仕組みに五感を意識した工夫を取り入れています。

サステナビリティ活動の取り組みとしては、国際的な評価機関「EcoVadis（エコヴァディス）」からブロンズ評価（国内上位35%）をいただきました。今後は、グループ会社も含めて、地球にやさしい取り組みを広げていきます。今年は、本社ビルに再生可能エネルギーを導入し、CO₂排出を42%減らすことを目標にしています。

今年の基本方針は「自律と和」、そして行動のキーワードは「進取と変革」です。これは、当社の大切にしている「挑戦する心」とつながっており、2026年に向けた中期ビジョン『USE ～幸せへの道～』を実現するための大きな柱になっています。これからも、最新の技術を取り入れながら、大切な情報をしっかり守り、社員が安心して、いきいきと働ける環境づくりに全力で取り組んでまいります。

これからも変わらぬご理解とあたたくいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

中長期ビジョンのこれまでとこれから

USE 2026ビジョン～幸せへの道～

2026年までに「愛や喜び、笑い、感謝にあふれる企業」を目指し、社員一人ひとりが働きがいと安心感を感じられる環境づくりに取り組んでいます。この幸せがサービスを通じてお客様や周囲に広がることを願っています。

地位財の向上

- ・生活リズムに合わせた働き方
- ・平均年収アップ
- ・社会的認知度アップ

社風・文化の変容

- ・何でも言える職場
- ・お互いをリスペクトする関係
- ・積極に関わる姿勢
- ・活動意図の共有・共感
- ・チームで達成感を分かち合う

中長期ビジョン達成に向けた3年目の重点的な取り組み

・情報発信の強化 [PICK UP 1へ](#)

・AIの活用 [PICK UP 2へ](#)

・キャリアコンサルタント導入

・NTTグループ事業戦略本部の設立

・社員が働きやすい環境の整備 [PICK UP 4へ](#)

・ランチミーティング制度の継続

・組織力強化に向けた全社共通トレーニング [PICK UP 3へ](#)

・働き方の多様化（在宅勤務制度継続）

・年収アップ

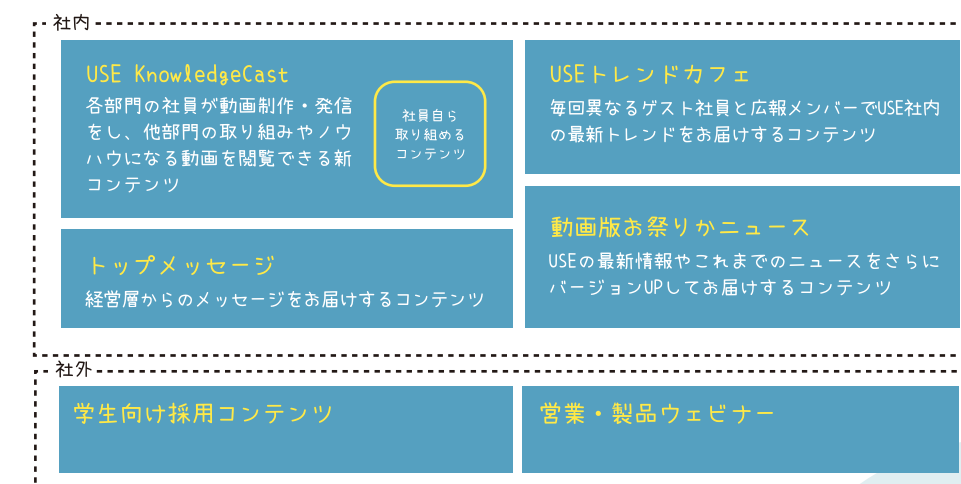
・平均残業時間の減少

PICK UP

活発なコミュニケーションと情報発信

社員間のつながりを深める新しいコミュニケーションプラットフォーム「USE放送局」を立ち上げ、社内外への情報発信を強化しました。また、KnowledgeCastで部門の専門知識を共有し、業務効率アップと自主的な学びを促進しています。

USE放送局とは



AIと共に働く環境の構築と展開

社員がより効率よく、そして快適に働ける環境づくりを目指して、独自の社内情報回答システム「Alris（アイリス）」を開発しました。Alrisは膨大な情報を素早く分析し、必要な知識やデータを的確に届けてくれる頼もしいパートナーのような存在です。

これにより、調べる時間が大幅に短縮され、仕事のスピードがぐっと上がります。私たちは、このようにAIと共に働くことで、一人ひとりが自分の力を最大限に発揮できる組織をつくっていきたいと考えています。

このAI技術をベースにした企業向けサービス「U-Alris（ユーアイリス）」も正式にリリースしました。U-Alrisは、社内のあらゆる情報について質問すると、瞬時に答えを返してくれるAIサービスです。

組織力強化に向けた全社共通トレーニング

全社共通トレーニングは、USEの全社員（役員・所属長・一般社員など）を対象とした社内研修です。主な目的は、業務に必要なスキルの習得による組織の効率化、コンプライアンスや情報セキュリティの継続的な学習による全社的な理解の定着、そして共通知識の習得による自己成長とお客様からの信頼向上です。2022年度以降は、人的資本への取り組みが発注や評価の基準として重視されており、全社で積極的に取り組む重要な活動となっています。

4 社員が働きやすい環境の整備

オフィス内で社員の五感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）を充実させることで、集中力や生産性の向上、リラックス効果などを高めることを目的とする「五感プロジェクト」が2024年に総務部の主導で本格的に始動しました。社員アンケートで「味覚」に関する要望が多かったことから、東京エリアオフィスに非接触型のウォーターサーバー（Aube）を導入。また、「触覚」面では、最新の空気清浄技術を搭載したAirdogを設置し、オフィスの空気環境を整えています。さらに「聴覚」には、快適なオフィス環境づくりの一環としてBGMを導入しました。今後も、社員一人ひとりの声を大切に、五感を通じて働きやすく、そして「働きたい」と考えるオフィス環境の実現を目指します。

4年目はどんな年になる？

発表された方針の中からPICKUP！

キャリアアップ支援

部門ごとに学習リーダーを配置し、学習時間を確保します。部門横断の経験機会を増やし、経営会議で進捗を共有しながら成長を後押しします。

強い組織づくり

技術リーダーの支援や属人化の解消に注力します。情報共有で目的を明確化し、社内ナレッジ活用を強化します。

ブランド価値向上

自社サービスや技術情報の発信を強化し、新サービスや専門分野に特化したサービスを拡充します。社風やビジョンも広報し、ブランド力を高めます。

働きやすい環境

互いを尊重し、意見交換がしやすい風通しの良い文化をつくれます。快適なオフィスとAI活用による新しい働き方を進めます。

グループ連携強化

USEビジネスソリューション、USEコート、CHROFYと協力し、営業・技術の力を合わせてさらにグループの連携強化を目指します。

AIでのサービス力向上

パーソナルAiris化への取り組み、AIとの協働プロセスへのチャレンジ、AIエージェントのサービス化に向けた準備と試行を進め、サービス力向上を目指します。

USE KICKOFF 2025

2025年4月12日、東京ヒューリックホールにてUSE KICKOFF 2025が開催されました。全国のUSE社員が集まりました。



● TOPメッセージ



● タイピング王決定戦

● 社長表彰



● 2025年度方針



● 代表メッセージ(USEの未来を作った5つの決断)



2024.4

ベトナムからの採用を本格化



ベトナム現地の学生に向けたジョブフェアやオンラインインターンシップを実施し、グローバル人材の採用に注力しています。

「久留米市ユース・エス・イーカップ 国際女子テニス2024」開催



USEがメインスポンサーを務める本大会が開催されました。賞金総額6万ドルのこの大会は、世界で活躍が期待される選手の登竜門です。

中部支社、名古屋に新拠点開設 地域連携強化へ



中部支社が名古屋駅近くに開設されました。今後100名体制を目指し、地域企業と連携し成長を進めます。

Charlotte推進室がガバメントクラウド移行支援で感謝状を受領



Charlotte推進室がデジタル庁のクラウド移行試験に貢献し、社会保険システム連絡協議会から感謝状をいただきました。

USE 1 YEAR HISTORY

USEの1年間を年表で紹介します！

2024.7

AIサービス「U-AIris」リリース 業務効率化を支援



企業向けサービス「U-AIris」を正式リリース。即時回答機能で社員の負担軽減と業務効率向上を図ります。

詳しくはコチラ



能登半島地震被災地へ義援金を日本赤十字社経由で寄付



久留米市ユース・エス・イーカップ国際女子テニス2024で集まった義援金を、日本赤十字社を通じて令和6年能登半島地震被災地へ寄付しました。

株式会社NTTデータより感謝状を受領



35周年を迎えたビジネスパートナー制度に対するUSEの長年の貢献が評価され、感謝状を授与されました。今後も幅広い技術分野で支援を続けてまいります。

野球部、東京都大会で初のベスト4進出



野球部が東京都大会で準々決勝を勝ち抜き、初のベスト4入りを果たしました。準決勝で惜しくも敗退しました。

NTTグループ事業戦略本部を新設し事業拡大を推進



USEにとっての最重要クライアントであるNTTグループとの関係性を見直し、「イコールパートナー」として、さらに深く連携することを目指して「NTTグループ事業戦略本部」を新設しました。その結果、NTTグループからの売上比率が約42.4%から47.9%へと増加しています。

2024.12

野球部、渋谷区秋季大会で4季連続優勝を達成



野球部が渋谷区秋季大会で準決勝、決勝を接戦で制し、4季連続優勝の快挙を成し遂げました。

野球部の近況をチェック！



「Salesforce Japan Women In Tech」に会長・吉弘京子がスピーカーとして登壇



会長の吉弘京子が、Salesforceに関わる女性のためのコミュニティイベントに登壇しました。女性創業者としての経験やSalesforceについて話し、参加者からの質問に答えたり、懇親会で交流を深めました。

2025年度入社式を開催



60名の新入社員を迎え、入社式を開催しました。優秀な8名のベトナム出身者も含まれ、英語での祝辞や通訳が行われました。

2024年度USEオープン社内表彰式を開催



4月誕生会で2024年度の優秀記事3本を表彰。社員の活動や魅力を伝える社内報の発展を目指しています。

USEオープン社内報はコチラ



2025.5

USE Youtube

YouTube動画コンテンツ、今年も公開中!

社員の素顔や働く環境をより多くの方に知っていただけるよう、さまざまな動画を揃えています。
QRコードから飛んでチェックしてみてください〜!

採用コンテンツ

USEをより深く理解いただくために、経営者の声をYouTubeにて公開しています。

ぜひご覧ください!



採用コンテンツ
トップビジョン



採用コンテンツ
3分で分かる"USE"



USEブランドストーリー

ブランドムービー「人と人」はUSEらしさが伝わる動画です。また、社歌は、USE創立50周年を機に、全社員の心をひとつにするために制作されました。

ぜひご覧ください!



ブランドムービー
人と人



社歌
USE〜幸せへの道〜輝く太陽



USE放送局

USE放送局は、各部門の社員が情報発信・閲覧できるプラットフォームです。今回特別に一部の動画を社外公開しています。

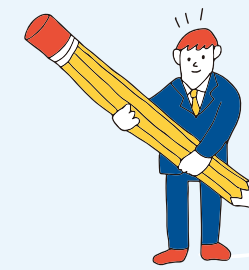
ぜひご覧ください!



USE放送局
USEトレンドカフェ



USE放送局
USE KnowledgeCast



USEオープン社内報

USEオープン社内報は5年目を迎えました。
初の表彰式が開催されたので、その様子やノミネートされた記事などを紹介します!

USEオープン社内報ってなに?

USEの魅力を社内外に伝えるために、USE社員が会社の様子や社員の紹介、仕事の内容、イベントの報告などを「note」というウェブサイトで発信しています。noteは、月間アクティブユーザー数7359万人(2025年2月時点)と多くの人に情報を届けられるため拡散力が高く、官公庁や地方公共団体も利用していることから信頼性の高い情報発信ツールとして認知されています!現在USEは203記事を公開しており、リアルなUSEの"今"を知ることができます。



記事はこちらから!

新たな挑戦!

01 表彰式の様子

Award ceremony

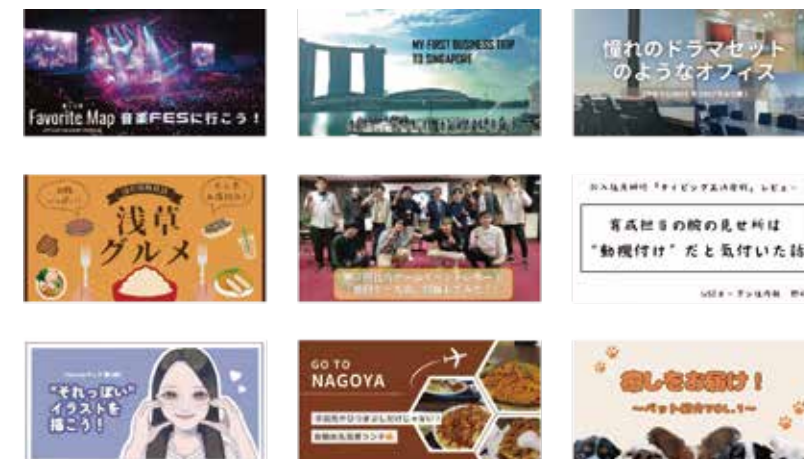


4月の誕生会で優秀記事3本が表彰されました!受賞者から感想が述べられたのち、前田博隆専務より表彰状とAmazonギフト券が贈られました。表彰式は、今後も開催する予定です!



02 ノミネート記事

Nominated article



2024年度は43本の記事が投稿されました。その中から閲覧数と「スキ」数をもとに、合計9本がノミネートされました!仕事の話はもちろん、社内イベント・オフィスツアー・社員の趣味・グルメなど様々なジャンルの記事があるので、是非チェックしてみてください!

ノミネート記事はこちらから!



CROSS TALK

この仕事の難しくて、でも、面白いところ

4年にわたり続いた某官公庁システムプロジェクトが昨年終了。USEのターニングポイントともいえる大きなプロジェクトを第一線で牽引した社員とそのチームメンバー、そして次世代のUSEを担う若手キーマンが対談。

吉弘 宗義

Yoshihiro Muneyoshi
取締役

2022年に取締役に就任。
新規事業開拓およびグローバル事業の推進に従事。
趣味は天体観測。

金須 正信

Kisu Masanobu
セールスフォース第二事業部 係長

2015年入社。
フロント*チームとして
同案件を3年牽引。
先日シカゴへ海外出張。

関谷 章吾

Sekiya Shogo
セールスフォース第二事業部

複雑な要件と高いセキュリティレベルが求められる同案件で高い技術力を活かしバックエンドを担当。

井手 優

Ide Masaru
セールスフォース第二事業部

2024年に入社し、現在は金須・関谷と同じチームに。
ポップ、アニソンなどの音楽鑑賞がマイブーム。

左から吉弘、井手、関谷、金須

※フロント…システム開発において、お客様と打ち合わせを行い、要件を整理・確定する役割。

官公庁システム刷新プロジェクト、その舞台裏

吉弘 昨年4月、約4年にわたって続いた某官公庁のシステム刷新プロジェクトが無事に完了しましたね。改めて、どんなプロジェクトだったか教えてもらえますか？

金須 はい。2020年後半の時点で、既存システムでは膨大なデータを処理しきれなくなっていて、それをSalesforceを基盤にした大規模な新システムに刷新するというプロジェクトでした。

吉弘 ピーク時には100名以上が関わっていた一大プロジェクトでしたよね。そんな中で、統括チームとしてプロジェクトを牽引してきた金須さんは、どんな思いがありましたか？

金須 やはり、システムの影響範囲が非常に広いという点で大きな責任を感じていました。直接のお客様である官公庁の方々はもちろんその先にいる多くのユーザーの存在も意識していました。プレッシャーもありましたが、それ

以上に「やりがい」を感じていましたね。

関谷 また官公庁のシステムというだけあって求められる業務知識とセキュリティレベルもかなり高く一筋縄ではいきませんでしたね。

吉弘 なるほど。特に印象に残っている出来事がありますか？

金須 一番大変だったのは、キーマンがプロジェクトから離れるタイミングですね。USE側でもお客様側でも人事異動などによってリーダーが代わると、それによってプロジェクトの進め方や雰囲気が変わり、ところどころでフラストレーションが溜まってしまっていました。

吉弘 たしかにそういった影響は起こり得ますね。

金須 ええ。だからこそ、キーマンが変わるタイミングでは、お互いの不安や違和感を丁寧にヒアリングするようにしていました。ちょっ

としたすれ違いが、大きな問題につながることもあるので。

吉弘 時にはお客様から厳しい言葉を受けることもあったようですが、そうした中でも、諦めずに続けられたのはなぜだったんでしょう？

金須 プロジェクトの最初のフェーズで若手が中心となってがむしゃらに取り組み、形にしていたのが大きかったです。予想外のトラブルやキーマンの離脱など幾度か難所もありましたが、今までのメンバーが築いてきた信頼関係をなんとか守りたいという気持ちが原動力でした。それに、フロントで一緒に動いていたリーダーや、現場で遅くまで頑張っている開発や運用のメンバーを見ていると「自分が諦めてはいけないな」と自然と思え、フロントとしての役目を全うして、みんなの努力をお客様へちゃんと伝えたいと思っていました。

吉弘 きっとそんな金須さんの姿もまた、他のメンバーの糧になっていたと思います。お互いの存在がお互いを支える、まさにチームワークですね。

言葉で伝える難しさ

吉弘 4年にわたるプロジェクトでしたが特に印象的だったエピソードはありますか？

金須 僕たちフロントはお客様と開発や運用メンバーとの間で板挟みになることもありますが、会話を重ねて、資料やテキストに乗り切らないお互いの想いを汲んで調整をした末、ある日「金須さんがいてくれて良かった」とお客様に言っていただけたとき、心を打つものがありましたね。

吉弘 お客様からの感謝の言葉って、何よりの励みになりますよね。今回のプロジェクトを通じて、何か気づいたことはありましたか？

金須 「言葉で伝える難しさ」を強く実感しました。メンバーが何気なく送ったメールによって誤解を生んでしまい「金須さん、これどういう意味ですか？」とお客様に冷たい目で聞かれることもありました…（苦笑）SNSなど短文でのコミュニケーションが増える今だから

こそ言葉の選び方って本当に大事だと痛感しました。

吉弘 言葉の重み。すべての仕事に、というより人生に言えることですね。

誰かの困りごとをITの力で解決する

吉弘 では、最後にこの仕事の難しさと面白さについて教えてください。

金須 今回のプロジェクトを通じて改めて「ITの力で誰かの困りごとを解決する」やりがいを感じました。USEでは、官公庁、医療、運輸、法人など、さまざまな業界の案件に関われるので、毎回新しい発見があり、好奇心旺盛な人にはぴったりの環境だと思います。もちろん、業務内容は複雑ですが、だからこそ「どう考え、どう伝えるか」という視点がすごく大事で、その試行錯誤が面白いです。

関谷 金須さんの言う通り、お客様によって異なる複雑な業務を紐解き、システム要件として整理するのには毎回苦労します。ですが、一度要件を整理できれば、その後のシステム作りはパズルの組み立てのようで面白いです。

井手 入社2年目の自分から見たUSEは、社内それぞれ違う分野のプロがたくさんいるので、その環境で働けること自体が面白さだと思います。現にこうして今日の前にもフロント対応と開発のプロであるお二人がいますからね！自分にとってはまだ遠い存在ですが、学びたい、ついていきたいと思える人がいることはとても刺激的です。

吉弘 ありがとうございます。4年という長い歳月の中で、数々の困難を乗り越えながら築かれた信頼とチームワークは、まさにこのプロジェクトの最大の成果だったと言えますね。ITの力で社会に貢献する、その意義とやりがいを改めて感じました。この経験を糧に、これからもITの力をもって社会の課題に真正面から向き合い、未来を切り拓いていきましょう。



ご家族の皆様へ

日頃より、社員の皆さんを温かく支えてくださっているご家族の皆様へ、心より感謝申し上げます。

おかげさまで、私たちUSEは今年、創業55周年という大きな節目を迎えることができました。この記念すべき年に、これまでの歩みとこれからの挑戦を象徴する「5つの決断」をご紹介します。USEの大きな転換期を一目でご覧いただける内容になっておりますので、ぜひご一読ください。

特にこの5年間、中でも昨年は、我が社にとって過去55年の中でも最大級の転換期となりました。

大きな決断と変化の背景を、ご家族の皆様にも知っていただきたく、今回特別に「KICKOFF特別冊子」を制作いたしました。困難な状況の中でも、社員一人ひとりが目標に向かって力を尽くし、想像を超える成果を出すことができたのは、何よりもご家族の皆様の支えがあったからこそです。本当にありがとうございます。

これからも、社員とご家族の皆様とともに、USEは更に成長します。今後とも、変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

代表取締役創業者会長
吉弘 京子



USEの 未来を作った 5つの決断

1968年、当時日本電子工学院の学生・京子（当時20歳）の呼びかけにより、濱田・石田（ともに当時19歳）が共に会社設立を目指しました。1969年10月には、濱田と石田がオペレーターとして日立製作所へ出向し、実務経験を積みました。1970年3月、母親からの援助を元手に正式に会社を設立。1971年のドルショックや1973年のオイルショックなどの厳しい経済状況の中でも、「礼儀作法で日本一」を掲げ、社員一丸となって困難を乗り越えました。



成長への決断

1985年12月、日本電信電話公社の民営化を受けて発足した日本電信電話株式会社（現・NTT株式会社、以下「NTT」）に、社員約170名、資本金400万円の小規模ながら業者登録を果たしました。翌年2月にはNTTとの取引を開始し、営業努力と技術力で信頼を獲得。1987年以降はNTT案件に経営資源を集中し、技術開発本部を設置して技術力を飛躍的に向上させました。1990年代初頭のバブル崩壊時も安定経営を維持し、国立理系大学から優秀な人材を積極的に採用。1997年にはERP事業に進出し、ピープルソフト事業に大規模投資を行い、20年間の成長の柱に育てました。2001年にはクラウドコンピューティングの先駆けとしてSalesforceを導入し、セールスフォース・ジャパンの第一号パートナーとなりました。これにより、現在の技術基盤と経営基盤が確立されました。

「USE KICKOFF 特別冊子」のみどころ

社員と共に乗り越えた5年間

社長が社員を守るために某官公庁案件プロジェクトからの撤退を決断し、社員全員で困難を乗り越えた絆と信念が伝わる内容です。社員を大切にする姿勢をご家族の皆さまにも感じていただけます。



永年勤続表彰

長年会社に貢献してきた社員一人ひとりの思い出エピソードを通して、USEの社員をより深く知っていただけます。ご家族での会話のきっかけにもぜひご利用ください。



ベトナム出身社員座談会

ベトナムからの新卒社員が、日本での生活や仕事について語ります。グローバル展開や異文化交流、若手社員の挑戦を通じて、USEの未来に期待が高まる内容です。



吉弘文平の決断

1973年に創業3年目のUSEに入社し、財務・人事・営業支援を担当。1993年1月に社長に就任すると、社員の意識改革を断行。当時の代表であった京子との交代劇を経て、「自らの能力・心・役割に挑戦」という三つの挑戦を掲げ、組織の改革を進めました。1995年5月には平成不況の中、社員と「立派な自社ビルを建てる」と約束し、1997年10月に9階建ての本社ビルが完成。これにより大企業との協業や全官庁統一資格Aランクの取得を実現しました。2019年10月には東京・恵比寿の象徴である恵比寿ガーデンプレイスに新オフィスを開設し、社員のモチベーション向上にも寄与しています。

吉弘三男の決断

2019年7月、第4代社長に就任。前任者からの経営を引き継ぎつつ、「USE2026ビジョン」を掲げ、社員の幸福度向上や働き方改革、年収アップ、社会的認知度の向上、風通しの良い職場づくりを中長期的な目標として推進しています。2024年には某官公庁案件プロジェクトに際し、業績拡大よりも社員保護を優先し、決算賞与を支給。経営陣自らが年俸カットを行い、全社一丸で取り組んだ結果、過去最高の増収増益を達成しました。また同年7月にはNTTグループ事業戦略本部を設立し、安定した顧客基盤の確立を図っています。

未来への決断

今後はベトナムを中心としたグローバル人材の採用も進め、海外市場への挑戦を視野に入れています。まずは「USE2026ビジョン～幸せへの道～」の達成を目指し、その先、300億円、500億円企業への成長を実現する姿が見えてきます。グローバル化と技術革新を両輪に、持続的な成長と社員の幸福を追求し続ける姿勢が、USEの未来を切り拓いていきます。



アンケート ご協力をお願い



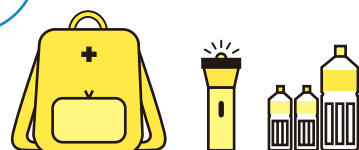
社外広報誌「USEREPORT2025」に対するご意見・ご感想をお待ちしています。
皆様の声を反映させることでより良い誌面づくりに繋げていきたいと考えています。

回答いただいた方にプレゼントを進呈！

2025
9.30(火)
まで

抽選で
5名様

1万円相当の防災グッズ



ご希望の方
全員

久留米市ユース・エス・イーカップ
国際女子テニス2025 限定タオル



アンケート回答の流れ

お手元にアンケートハガキをお持ちの方はハガキでの回答も可能です。

Step1



QRコードをスマホで読み
取る

Step2



プレゼントをご希望の方
は期限内にアンケートに
回答する

Step3

送信

アンケート下部の送信ボ
タンをクリックする

※アンケートの回答は随時受け
付けております

【ご回答にあたって】

- ・アンケートはQRコード又は、同封されてるハガキのどちらかでお答えください。
- ・抽選品の発送は、住所氏名等をご記入された方に限ります。
- ・抽選品当選者の発表は、抽選品の発送をもって代えさせていただきます。
- ・抽選品の発送は、2025年10月初旬より順次行う予定です。
- ・アンケートはお一人様一回しかご回答いただけません。
- ・皆様からのご回答内容を社外広報媒体に使用させていただく可能性があります。
- ・個人情報の取扱いについては当社のプライバシーポリシーをご覧ください。

USEのブランドイメージに 関するアンケートに ご協力ください。

実施期間 2025年7月1日～2026年2月28日

\\
右記のQRコード
から3分で回答
\\



OFFICE

■東京本社

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-22-10

■恵比寿ガーデンプレイスタワーオフィス

〒150-6014 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー11F、14F、31F

■中部支社

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-9-6 アルティメイト名駅2nd6F

■関西支社

〒530-6110 大阪府大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル10F

■九州支社

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前4-14-1 博多深見パークビルディング8F

■USE・salesforce開発センター (久留米事業所)

〒830-0022 福岡県久留米市城南町15-5久留米商工会館3F

発行日: 2025年7月22日 (火) ■本冊子に関する問い合わせ 広報担当: kouhou@use-ebisu.co.jp Copyright©USE All rights reserved

※社員の所属や組織体制は取材当時のものになります

当誌に掲載されているQRコードは「くるくるマネージャー」を使用しており、以下の情報を取得します。これらの情報はアクセス解析にのみ使用されます。
cookie (一意の識別コードを付与) / IPアドレス (IPアドレスを基とした、簡易位置情報に変換後、IPアドレスは破棄) / 読取ったQRコードID (IDはクルクルマネー
ジャー上で割り振ったもの) / 読み取り日時

編集後記



あるあるですね！清水さんの一押しページはある？



あるあるだね。どこかしっくりこないけど、何が悪いのか分からないくて悶々としたりね！



いろいろなデザインを参考に、自分で試行錯誤しながら作っていくのが楽しかったです！ただ、こだわろうと思えばどこまでもこだわられるので落としどころが難しかったです。



清水さんは初めての紙面作成だったけどどうだった？



確かにポップで親しみやすい表紙ですよね！



親しみやすいデザインで、より多くの人に興味を持ってもらうためです！



ここまで大きく表紙が変わったのは初めてだね！何でリニューアルしようと思ったの？



皆様、最後までご覧いただき、ありがとうございます。今年も無事に社外広報誌「USE REPORT 2025」を発行することができました。昨年度までと大きく違う点は、表紙をリニューアルした点です！記念すべき第1回目の表紙は本社です。



今年も見どころが詰まった1冊になりましたね！2026年に向けた中長期ビジョンに向けて全社一丸となつて取り組んでいるUSEの“今”をお届けできたでしょうか。この「USE REPORT 2025」は企画、情報収集、紙面作成まで全て編集メンバーの手作りです。この1冊を通して多くの皆さまへUSEの“今”をお届けできますように。



そうですね！読んだ人は何かしら気づきを得られると思います。



そうだったんですね。感情や言葉は全員に共通して言えることですかね！



金須さんが10年勤続表彰のスピーチで、感情のコントロール、言葉の使い方、伝え方について話して、それを京子代表が大絶賛したことが始まりだよ！



なるほど。なぜこの対談企画が始まったんですか？



よく纏まって良いページだったね！私の一押しは、「CROSSTALK」かな。仕事に向き合う姿勢やマインドが参考になるんだ。



「USE 1 YEAR HISTORY」は分かりやすくきれいに纏められたかなと思います！

編集メンバー紹介



郡司：入社6年目
USE REPORT編集長
毎週山に登っています！



千葉：入社10年目
育休から復帰
8ヶ月の息子の育児奮闘中です！



清水：入社5年目
広報に異動して約1年
家庭菜園を始めました！

よく見かけるこの絵って？



◀「赤富士」は日本画家・小松均の作品。1990年に創業者である吉弘京子が一目ぼれして購入し、その後の事業拡大や困難な仕事の成功など幸運を呼び込む象徴として大切にされています。原画は社長室に飾られています。



株式会社 ユー・エス・イー
Universal Systems Engineering